

中国総合通信局長表彰

1 「電波の日」関係

(電波利用の発展に貢献し、その功績が顕著な個人又は団体)

(1) 個人：2件

(敬称略)

氏 名	功 績 の 概 要
はえいわ かずひさ 生岩 量 久 (前 広島市立大学情報科学部教授)	地上デジタルテレビ放送の技術的課題に関する数多くの研究を行うとともに、中国情報通信懇談会放送部会長として完全移行に向けた周知活動に積極的に取り組むなど、地上デジタルテレビ放送の普及に多大な貢献をされました。
やまだ かずのすけ 山田 一之 助 (島根県電波適正利用推進員協議会 会長)	長年にわたり島根県電波適正利用推進員協議会会長として、電波適正利用推進員制度の定着に尽力するとともに、積極的な周知広報活動を通じて、地域の良い電波利用環境の維持に多大な貢献をされました。

(2) 団体：3件

団 体 名	功 績 の 概 要
第六管区海上保安本部総務部情報通信課 (代表：情報通信課長 はまだ たかし 濱田 貴士)	「災害時における携帯電話基地局の船上開設に向けた調査検討」の実地試験において、巡視船くろせの派遣と各種試験データの取得に積極的に協力し、電波利用の高度化に多大な貢献をされました。
広島県警察本部 (代表：本部長 いぐち つよし 井口 齊)	平素から無線通信の重要性を深く認識し、各警察署に対して不法無線局の取締りを積極的に行うよう指導するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
社団法人仙崎漁業無線協会 (代表：会長理事 つむろ よしひさ 津室 喜 久)	漁業無線のデジタル化により、全国で初めて緊急通報や画像情報の伝送を可能とする緊急通報システムを導入し、漁船の安全操業に資する電波利用の高度化に多大な貢献をされました。

2 「情報通信月間」関係

(情報通信の発展に貢献し、その功績が顕著な個人又は団体)

(1) 個人：2件

(敬称略)

氏 名	功 績 の 概 要
やまぐち まさあき 山口 雅 明 (ドコモエンジニアリング中国株式会社 モバイルシステム事業部カスタマサー ビス部テクニカル研修センタ)	e-ネットキャラバン講師として多数の講 座を実施し、青少年のインターネットリテラ シー向上に尽力するなど、情報通信の普及発 展に多大な貢献をされました。
わたなべ としまさ 渡邊 敏 正 (広島大学大学院工学研究院情報部門 特任教授)	長年にわたり中国情報通信懇談会の運営委 員長として、豊富な経験と卓越した見識をも って活動に取り組み、中国地方における情報 通信の普及発展に多大な貢献をされました。

(2) 団体：2件

団 体 名	功 績 の 概 要
広島市立藤の木小学校 (代表：校長 もりかわ やすお 森川 康男)	小学校におけるＩＣＴ環境の導入・構築・ 運用に積極的に取り組むとともに、その成果 を紹介するなど、教育分野におけるＩＣＴ利 活用の推進に多大な貢献をされました。
特定非営利活動法人天かける (代表：理事長 いとう かつひで 伊藤 勝 陽)	地域の医療機関や介護施設にまたがる広域 的な情報連携基盤の構築に積極的に取り組む とともに、その成果を紹介するなど、医療・ 介護分野におけるＩＣＴ利活用の推進に多大 な貢献をされました。